

英国金融政策（2023年8月）

14会合連続の利上げ、利上げ幅は0.25%ポイントへ縮小

2023年8月4日

政策金利は十分に長い間、十分に引き締めの

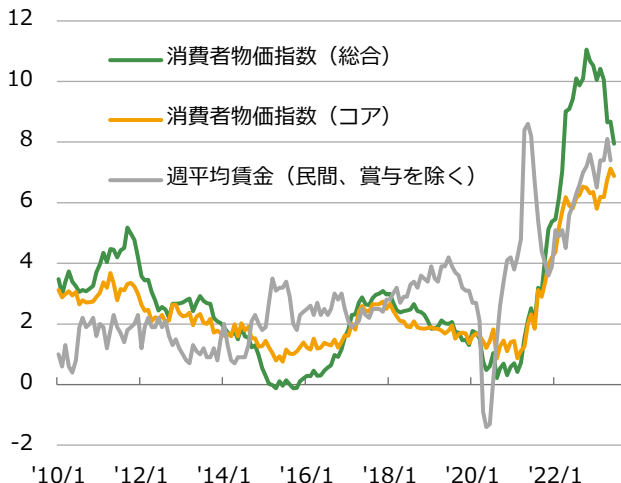
BOE（イングランド銀行）は8月2日（現地、以下同様）に終了したMPC（金融政策委員会）で、政策金利を5%から5.25%へ引き上げることを決定し、3日に発表しました。2021年12月から14会合連続の利上げです。市場予想の中心は0.25%ポイントの利上げでしたが、0.5%ポイントの利上げ予想もあったため、結果発表直後は債券利回り低下、ポンド安の反応が見られました。ただ、その後は持ち直す展開となりました。票決は6対3で、2名は0.5%ポイントの利上げを、1名は据え置きを主張しました。

BOEは利上げの理由として、「幾つかの主要指標、特に賃金の伸びは、より持続的なインフレ圧力が顕在化し始めている可能性を示唆する」と述べています。それでも、利上げ幅が0.5%ポイントから縮小したのは、直近6月の消費者物価指数の伸びが前回のMPCでの想定を下回ったことが主因と見られます。市場の織り込む政策金利を前提に、インフレ率は2025年4-6月期までに2%へ低下した後、2%を下回って推移するとのBOEの見通しですが、上振れリスクを考慮した場合は2、3年後ともほぼ2%としています。

BOEは声明文に「これまでの大幅な利上げの結果、現在の金融政策姿勢は引き締めの」との現状認識と、「政策金利が十分に長い間、十分に引き締めであることを確実にする」との方針を追加しました。必要に応じて追加利上げを実施する姿勢は不変で、賃金と物価のスパイラル的な上昇も懸念されるなか、追加利上げは避け難く、利上げ打ち止めの時期、並びにその水準はなお流動的です。

英国の消費者物価指数と週平均賃金

(前年同月比、%) (2010年1月～2023年6月)



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
 ※週平均賃金は2023年5月まで (出所) リフィニティブ

英国の金利と為替

(%) (2020年初～2023年8月3日) (米ドル/ポンド)



※政策金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management